

# 内水面研究所の沿革と組織

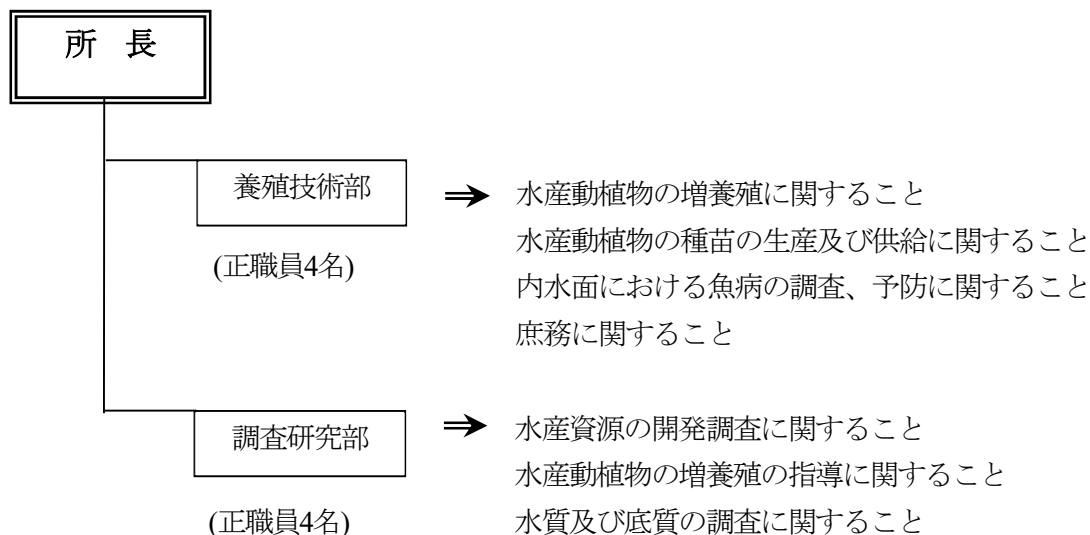
## (1) 位 置

青森県十和田市大字相坂字白上 344-10  
 (〒034-0041 TEL 0176-23-2405 FAX 0176-22-8041)

## (2) 沿 革

1901(明治34)年6月	相坂鮭鱒人工ふ化場を上北郡藤坂村に設置
1927(昭和2)年9月	青森県水産試験場相坂養魚場に改称
1948(昭和23)年5月	青森県水産試験場黒石養魚場を南津軽郡中郷村に設置
1961(昭和36)年4月	青森県水産試験場黒石養魚場を黒石市大字石名坂に移転
1975(昭和50)年9月	オームリ展示室を西津軽郡岩崎村の十二湖に設置
1980(昭和55)年2月	県営赤石川さけます実験ふ化場を西津軽郡鱒ヶ沢町赤石に設置
1981(昭和56)年4月	青森県水産試験場より独立し、青森県内水面水産試験場と改称 黒石養魚場、赤石川さけます実験ふ化場及びオームリ展示室を引き継ぐ 青森県魚病指導総合センターを併設
1983(昭和58)年5月	オームリ展示室を西津軽郡岩崎村へ譲渡
1985(昭和60)年4月	黒石養魚場を黒石市へ譲渡
1993-1994(平成5-6)年度	飼育実験棟の新設
1996(平成8)年4月	青森県魚病指導総合センターを青森県内水面水産試験場に統合
2001(平成13)年4月	青森県水産部が農林部と統合して青森県農林水産部に改称
2001(平成13)年11月	青森県内水面水産試験場の創立100周年記念式典
2003(平成15)年4月	青森県水産試験場が組織統合により青森県水産総合研究センター 内水面研究所に改称
2009(平成21)年4月	地方独立行政法人青森県産業技術センター内水面研究所と改組・改称
2020(令和2)年度	ふ化棟の改築

## (3) 機 構 (2019 年度、2020 年度)



## (4) 施 設

名 称	構 造	規 模	内 容
① 庁 舎	鉄筋コンクリート造・2階建て	425 m <sup>2</sup>	事務室、会議室、ウィルス検査室、生物測定室等
② 宿 直 室	木造・平屋	114 m <sup>2</sup>	宿直室
③ 飼 育 実 験 棟	鉄骨造・平屋	769 m <sup>2</sup>	生物工学実験室、生物環境実験室、屋内飼育室、光周期実験室、隔離実験室、採卵魚体処理室、冷凍室、冷蔵室、排水処理室、機械室等
④ ふ 化 棟	鉄骨造・半2階建	285 m <sup>2</sup>	ふ化槽、稚魚水槽、紫外線殺菌装置等
⑤ 倉 庫 棟	鉄骨造・半2階建	140 m <sup>2</sup>	飼料保管庫、車庫、工作室
⑥ 倉 庫	鉄骨造・平屋	22 m <sup>2</sup>	
⑦ 車 庫	鉄骨造・平屋	22 m <sup>2</sup>	
⑧ ポ ン プ 舎	コンクリートブロック・平屋	15 m <sup>2</sup>	取水ポンプ2.2kw/h 0.1~0.2 m <sup>3</sup> /m 2台
⑨ 倉 庫	鉄筋コンクリート造・平屋	16 m <sup>2</sup>	
⑩ 屋 外 試 験 池	コンクリート	2,749 m <sup>2</sup>	試験池 185~521 m <sup>2</sup> 7面 試験池 35 m <sup>2</sup> 1面 試験池 16.5 m <sup>2</sup> 20面
⑪ 防 疫 施 設	コンクリート	1,020 m <sup>2</sup>	試験池 200 m <sup>2</sup> 2面 試験池 16~21 m <sup>2</sup> 9面 FRP水槽 0.5~5トﾝ 63面
⑫ 1号、2号池	素掘り		1号池 2号池
⑬ 取 水 ポ ン プ			15kw/h 三相式 1.5~3 m <sup>3</sup> /m 1基
⑭ 揚 水 ポ ン プ			7.5kw/h 三相式農業用水用 1基
(飼育実験棟内設備) 淡水温度調整装置 自家発電施設 排水除濁ろ過装置 特殊排水処理装置			15t/h 5系統 149kVA 2基 20 m <sup>3</sup> /h 3 m <sup>3</sup> /h